

# 「地域経済動向に関するアンケート調査」分析報告書

中小企業診断士 久保田義幸

平成 28年 12月 1日

## I 「地域経済動向に関するアンケート調査」の目的について

当調査は、当地域内で事業を行う事業者の「景気動向」について調査を行うものである。経済動向調査については、「県内経済動向・統計（関東財務局）」や「業況判断来季予測（群馬経済研究所）」などが発表されているが、必ずしも当地域の動向を表すわけではない。そこで、当商工会において、地域の実情に即した情報の収集・分析を実施し情報を発信する。当調査は、当地域の小規模事業者がそれらの情報を持続的な発展に役立ててもらふことを目的とする。

### 1 調査時期

平成 28 年 9 月～10 月

### 2 調査対象期間

平成 28 年 7 月～9 月

### 3 調査方法

当商工会会員事業者に対して調査票を郵送した。

### 4 アンケート調査数

送付事業者数：317

回答事業者数：136

回答率：43%

## II 経済動向調査分析













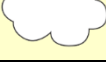

### 1 全業種

桐生信用金庫の「地域産業景気動向調査」によると、全業種の業況 DI が 4.8 と前回調査と比較し 3.1 ポイント上昇した。要因は卸売業、不動産業の 2 業種を除く各業種の上昇である。

新里商工会の「地域経済動向に関するアンケート調査」においては、全業種の DI は ▲23.7 と大幅なマイナスとなっており、上記の調査と比較し新里管内の業況回復が遅れていることが読み取れる。

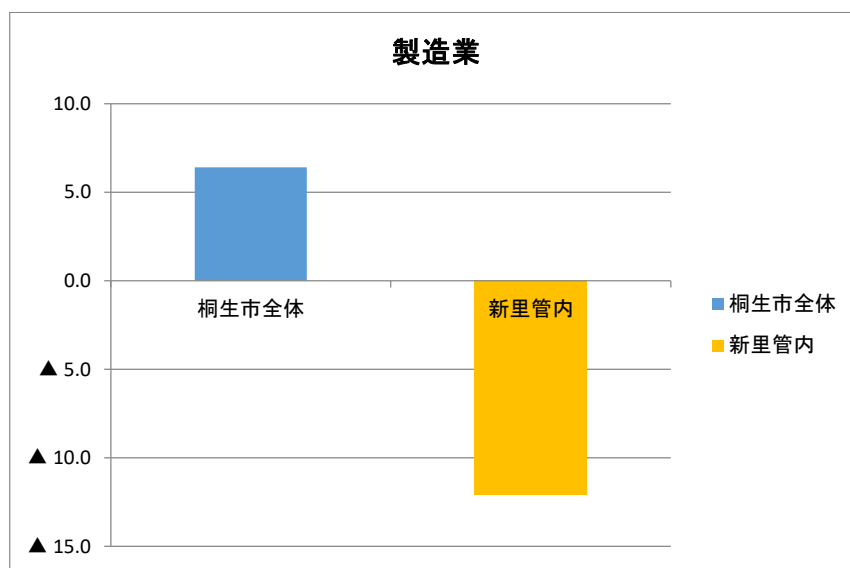
	桐生市	当地域
全業種	4.8	▲ 23.7
製造	6.4	▲ 12.1
卸売	▲ 13.3	0.0
小売	2.4	▲ 60.0
サービス	3.7	▲ 17.2
建設	14.9	▲ 28.1
不動産	▲ 3.2	▲ 50.0

<業種別天気図>

	桐生市	当地域
全業種		
製造		
卸売		
小売		
サービス		
建設		
不動産		

## 2 製造業

- ・桐生信用金庫の「地域産業景気動向調査」によると、製造業の業況 DI は 6.4 となっており前回調査と比較し 4.0 ポイント上昇した。
- ・新里商工会の「地域経済動向に関するアンケート調査」においては、製造業の DI は▲ 12.1 とマイナスとなっている。

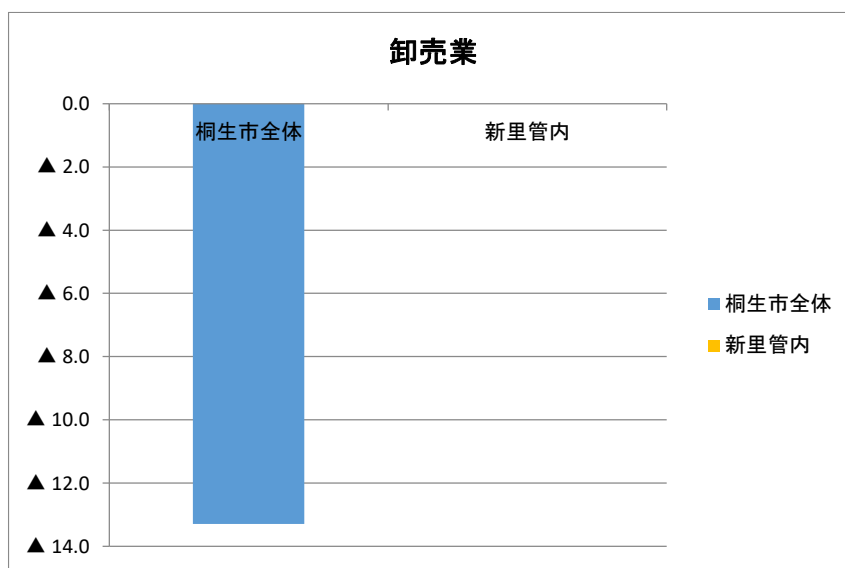


「コメント」

- ・企業が外国へ工場を移すので国内には仕事が少ない。
- ・年々悪くなっていく感じです。
- ・薄利多売が続き非常に苦しい状況となっている
- ・取引先へ理解を求め利益が出せるよう努力している。
- ・下請の為、親会社の影響度によって経営状況はつねに変化するので経営がむずかしい。
- ・現状維持するだけでも大変な時代である。
- ・加工費のコストダウンで 経営がきびしい。

**3 卸売業**

- ・桐生信用金庫の「地域産業景気動向調査」によると、卸売業の業況DIは▲13.3となっており前回調査と比較し10.0ポイント下降した。平成28年12月期予想では回復見込みとなっているが業況DIは引き続きマイナスが予想されている。
- ・新里商工会の「地域経済動向に関するアンケート調査」においては、卸売業のDIは0.0となっており全業種の中で最も高い。

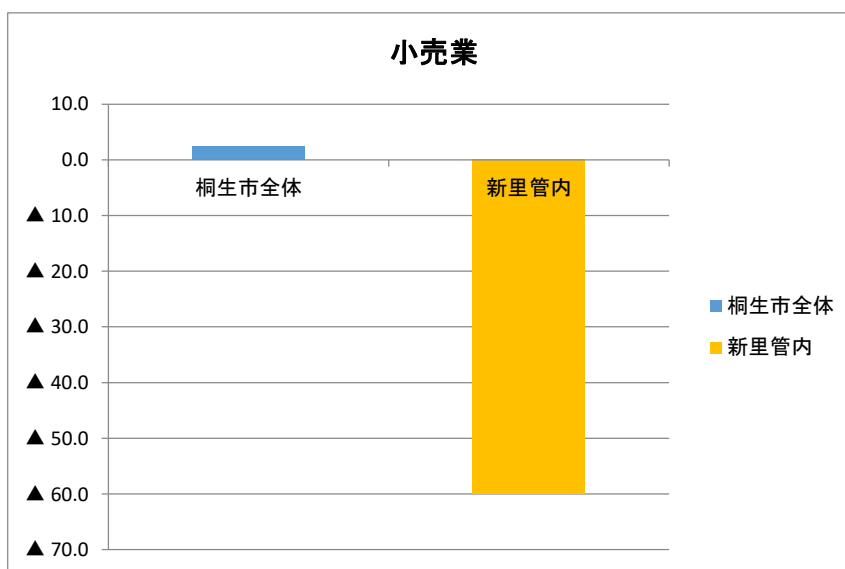


「コメント」

- ・新規販路拡大は難しいが少しずつ取扱い商品等を増やし売上・利益ともに上昇傾向となっている。
- ・業績が下向かない内に、設備投資や新事業展開を図りたい。

#### 4 小売業

- ・桐生信用金庫の「地域産業景気動向調査」によると、前回調査時において全業種の中でDIが▲11.9と最も低かった小売業が今回の調査ではプラス2.4と上昇に転じている。しかし、平成28年12月予想では業況DIはマイナスが予想されており消費力の弱さが懸念される。
- ・新里商工会の「地域経済動向に関するアンケート調査」においては、小売業のDIは▲60.0とマイナスとなっており全業種の中で最も低い。

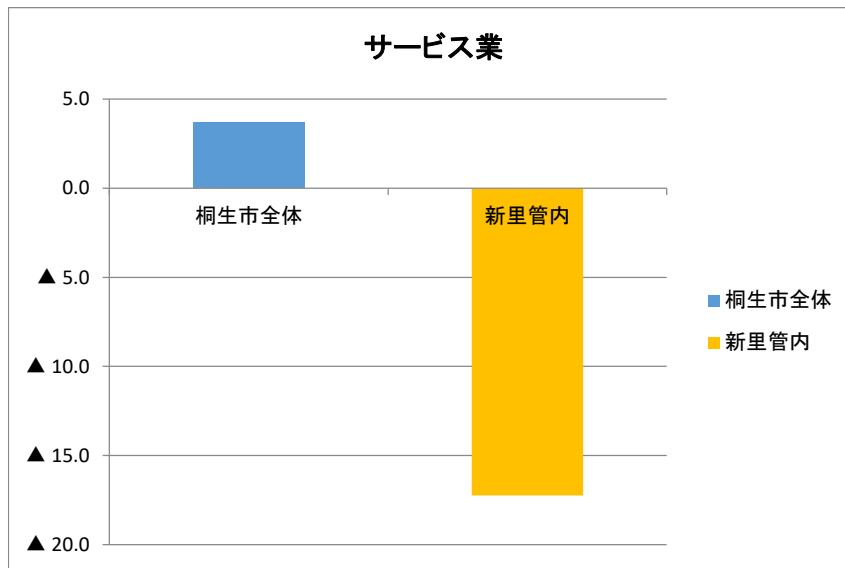


「コメント」

- ・同年代のお客様が少なくなった。
- ・まったく売上げなし。店をたたもうかと思っている。
- ・借入金返済が残っている。毎月の支払いが厳しく続けられない。
- ・小売りが中心ですが卸業務を拡大したいと考えている。
- ・消費税増税後から売上・お客様の人数が減少している。
- ・商品価格の値上げも相次ぎ現状維持が精一杯です。

## 5 サービス業

- ・桐生信用金庫の「地域産業景気動向調査」によると、サービス業の業況 DI は「3.7」となっており前回調査と比較し 0.9 ポイント上昇した。平成 28 年 12 月期予想ではさらに回復する見込みとなっている。
- ・新里商工会の「地域経済動向に関するアンケート調査」においては、サービス業の DI は▲17.2 となっている。



### 「コメント」

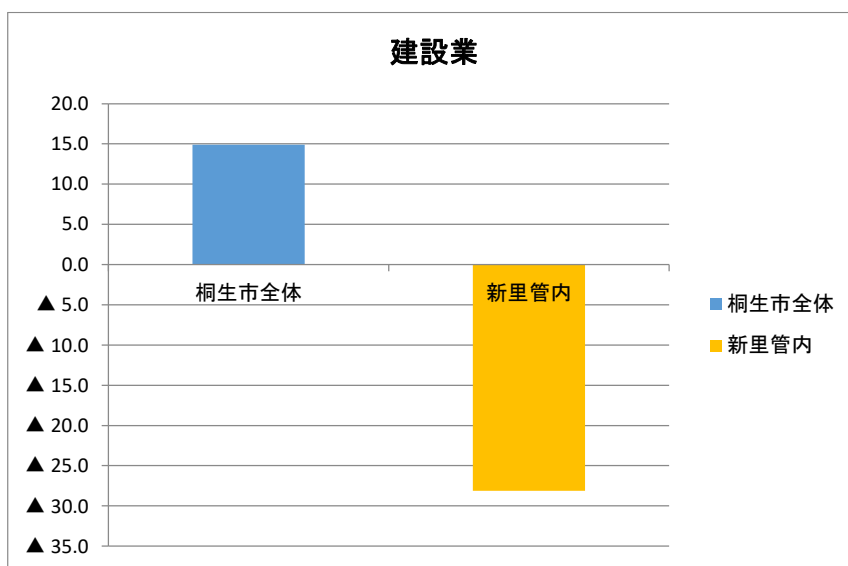
- ・現在の体力に合った仕事量だと思っている。
- ・人口減少と少子化などこれからくる問題について中小企業はとても大変です。
- ・もうすこしスローダウンして前向きに仕事をして後世に継げていきたい。
- ・忙しい感じではあるが、単価的なことや長期にわたり仕事が出てくるのかわかりづらい。
- ・環境変化・消費者動向が非常に読みづらく経営方針を建てるのがむずかしい。
- ・長期計画を常に変化させながら、どのように販路を開いたらよいのか考慮している。

## 6 建設業

- ・桐生信用金庫の「地域産業景気動向調査」によると、建設業の業況 DI は「14.9」とな

っており前回調査と比較し 6.4 ポイント上昇した。平成 28 年 12 月期予想ではさらに回復し調査業種の中ではトップの DI となっている。

- ・新里商工会の「地域経済動向に関するアンケート調査」においては、建設業の DI は▲28.1 となっており厳しい状況が続いている。

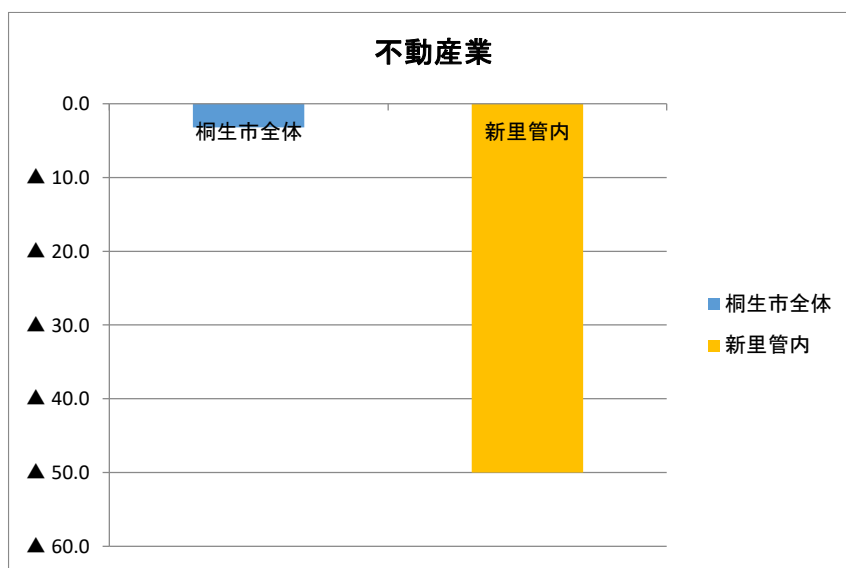


「コメント」

- ・厳しい状況は変わらず、新規顧客獲得で前年比ややプラスとなった。
- ・消費不況と天候不順で客足が遠のいたのと分析している。
- ・縮小・廃業を考えている。
- ・毎月悪くなっており先が見えない。
- ・先方の仕事内容によって業績が左右される。
- ・色んな資格を取得しているが、仕事につながらない。
- ・現状維持で良い。
- ・自動車関係を先頭に、設備投資額が増加していない。
- ・業績は良くなってきているがスタッフ、人材確保に苦労している。

## 7 不動産業

- ・桐生信用金庫の「地域産業景気動向調査」によると、不動産業の業況 DI は▲3.2 となっており前回調査と比較し 6.4 ポイント下降した。平成 28 年 12 月期予想では大幅な回復が見込まれている。
- ・新里商工会の「地域経済動向に関するアンケート調査」においては、不動産業の DI は▲50.0 となっており小売業に続いて厳しい状況となっている。



「コメント」

・悪くなる一方だ。



## 地域経済動向に関するアンケート調査

該当する番号に○を付けてください

### 1. 業種について

御社の業種をお選びください

1) 製造業      2) 卸売業      3) 小売業      4) 建設業      5) サービス業

6) 不動産業      7) その他 (                      )

### 2. 平成28年7月～9月の業績は平成28年4月～6月と比較してどうでしょうか？

1) 良くなった      2) やや良くなった      3) 変わらない

4) やや悪くなった      5) 悪くなった

### 3. 経営状況についてご意見をお聞かせください

ご協力ありがとうございました